

東京大学

「問題」の設定と「解決」ができる人材の養成を行っています
「社会は何を必要としているのか」「そのために何を作るのか」「どのようにデザインし機能させるのか」
本郷キャンパス(東京)を拠点に様々なキャンパス(浅野、東海等)で教育研究を実施

東京大学 (教養学部1年～2年夏学期 [理科I類～III類、文科I類～III類])
駒場キャンパスで文理問わず、多様な分野の教育を受けることができます)

↓ 進学選択 (希望する学部・学科を選択できる)

原子力工学などに関する最先端の教育を受け、研究を行いたい

工学部 システム創成学科 Aコース(E&E) 環境・エネルギーシステム

エネルギー源の確保と環境への調和
人類が直面する最難問に挑む！

学科の方針： 環境・エネルギー問題の総合的理解、
広い視野の育成(文理融合)、専門性の育成

研究分野： 原子力システム安全、熱流体工学、原子炉材料学、核融合炉材料学、放射性廃棄物処分、核燃料サイクル、量子計測、エネルギー・経済・環境システム、エネルギー環境政策評価、など多数

講義： 原子力エネルギー工学、核融合プラズマ科学、核融合工学・炉設計、放射線と環境、電磁エネルギー基礎、応用のための物理、安全学基礎、人工物工学、エネルギー・環境経済システムなど

工学部 システム創成学科 Bコース(SDM) システムデザイン&マネジメント

基幹的工学・情報工学・社会工学

学科の方針： システム全体を俯瞰する実践学習、
プロジェクト主体の創造的学習、マネジメント能力の
向上

研究分野： 原子力安全、リスク評価、新型炉、原子炉構造工学、原子力保全技術、核セキュリティ技術、放射線計測、光子・同位体利用工学、流体力学、原子・分子・量子エレクトロニクス、など多数

講義： 量子力学、設計学基礎、有限要素法と構造解析、第一原理シミュレーション技法、量子コンピューティング、微分方程式の解法と可視化、システム設計科学、Fundamental Mechanics(E)など

卒業生の約7割が大学院進学(工学系等)、約3割が就職(官庁、製造業、資源・エネルギー、商社、情報・通信、金融・保険、コンサルティングなど)や、自ら起業する方もいます。

大学院 工学系研究科 原子力国際専攻

最先端の研究・教育環境、多種多様な人材(約1/4は留学生)、国際連携

研究領域：原子力エネルギー、放射線応用、モデリング&シミュレーション、材料